

ぬまじ憲法9条の会

210号
2023年
8月1日 発行
事務局
神田健夫
055-921-7755

「安らかに眠って下さい 過ちは繰返しませぬから」

原爆死没者慰霊碑 (広島平和都市記念碑) 碑文です。

今年も八月六、九日の広島、長崎へ原爆が投下された日を迎えます。

今でも被爆者、二世、三世の方々には原爆で苦しみ、多くの方が父や祖父、兄弟を赤紙一枚で戦場に送られ、戦死の知らせが届くだけで、遺骨さえ戻ってきていません。

「戦場」への対応を

日本政府は、国民に中国の「台湾有事」、北朝鮮の「ミサイル」を理由に、日米で対応するために、軍事費を増大し、防衛のために敵基地攻撃能力保有を進め

ています。

台湾有事の時には、日本が「戦場」になることを日米は想定しています。これを受け、基地の強靱化を進め、自衛隊の司令部を地下に設置することや先島(さきしま)諸島に地下避難場所がないために、松野官房長官が設備するために視察をしています。

戦場になれば

国民の命守れない

戦場になれば、相手が敵基地攻撃で狙うのは、日本の基地の司令部や先島諸島だけではなく、日本全土です。大都市、日米の基地、原発です。国民が地下に避難することなどできません。日本全土に防空壕や避難路をつくるべきか？

「台湾有事」で 日本全土が戦場に

日本がなぜ戦場になるのでしょうか。それは日本に他国では考えられないほどの米軍の基地があり、日米の軍隊が中国、北朝鮮に向けての攻撃の発信基地で、ミサイル防衛しているからです。

米国は中国とは戦場にならないという約束とホットラインがあります。ロシアとNATO・米国の戦争で、ウクライナだけが戦場になっていることから分かると思います。

有事も戦争も 回避せよ

今、日本政府に求められていることは、台湾問題を有事や戦争にさせないことです。

岸田政権が国民の命と生活を守るためには、日本の基地から米軍の出撃やめさせることです。米軍の日本からの直接出撃は事前協義の対象であることを確認させることです。今求められていることは戦争させない外交です。

岸田首相は議会や国民に審議や説明もなく、軍事同盟であるNATOと協力文書を交わしました。安保条約で米国と軍事同盟を結ぶ日本とNATOが一緒になって、ロシアに対抗することは世界の分断を進めることになりません。

今こそ日本国憲法の平和主義の立場での外交をさせるために、私たち国民一人一人が、「日本を戦場にさせない」と、声をあげてください。

日本を戦場にするな

「戦争させない 憲法壊すな 沼津の会」主催

日時 9月17日(日)

13時30分

会場 沼津中央公園

集会・スタンディング

○大軍拡・改憲は戦争への道

○9条改憲許さない

○安保3文書改定撤回せよ

○ロシアはウクライナ侵略を止め即時撤退

雨天中止

土曜日・駅頭

スタンディング

場所 JR沼津駅南口

井上靖記念碑前

時間 13時30分

14時15分

8月5日 12日

19日 26日

いずれも土曜日

プラカードを持って立って

も、腰掛けても参加出来ます。

雨天中止

あなたの思いを

行動に

改憲攻防は 続いている

★七月六日、首相はまた産経のインタビューに応じた。安部死亡一年を受けたものだが、産経の改憲質問に、「任期中に改憲に努力という気持ちは変わりない」と六月に答弁を繰り返した。

いらだったのだろう、産経は岸田の「任期」ということばに、(来年九月までの)という形容をカッコつきで載せた。

★改憲派は「今年秋の国会で改憲案をまとめる」「来年に国民投票」と息巻く。憲法を守るという人中でも「来年秋までに改憲、怖い、あせる」と口にする人はいる。

改憲派の執念は軽視しないが、あと一年二カ月で国民投票を終えられるか。その間、岸田政権が力を維持できるのか。七月二五日二紙が世論調査を発表した。

毎日||岸田内閣支持28%
不支持65%(ダブルスコアだ)、
読売||支持35%・不支持52%。

もとより改憲反対の国民世論はやはり根強い(今年五月の共同通信世論調査||いま改憲の機運はない70%)。改憲各党の案はまとまるのか。

★改憲をめぐる攻防で、われわれは押し負けてはいないと思う。少なくとも「二四年九月までの改憲」を打ち破る下地はある。

ただし二点。

①改憲派の執念をいささかも軽く見てはならない。

②そのあと改憲とのたたかいは終わりはしない。

憲法とメディア
2023.7.25 今週の視点

ぬまづ憲法9条の会 18周年のつどい

今年「ぬまづ憲法9条の会」を結成して18年になります。まだ、事務局案ですが左記のような内容で検討しております。

日時 2023年11月11日(土)
開演14時

会場 沼津市立図書館
・視聴覚ホール

講演 飯題「知らなかった、僕らの戦争」

講師 アーサー・ピナードさん

1967年7月、アメリカ合衆国ミシガン州生まれの詩人・俳人、随筆家、翻訳家。

当会でも2010年「池袋から堪忍袋まで」、2017年1月「ことばのおそろしさ」そして日本の未来」をお話して

いただきました。

行事のお知らせ

三島 平和のための戦争展
8月18日〜23日

三島市民生涯学習センター
3階 市民ギャラリー
主催 核兵器をなくし平和をつくる
三島市民の会

伊豆市 原爆写真展
8月6日

生いきいプラザ E1
主催 伊豆市平和委員会

函南 みんなの平和展
9月1日(金) 映画

沖繩、再び戦場へ
9月2日(土)講演

冤罪 袴田事件」の正体、これに死刑にせられる裁判の現実
講師 角替清美さん
袴田事件弁護団)

会場 函南町文科センター
主催 函南みんなの平和展実行委

沼津 鐘をならすつどい
8月9日(水)

集合時間10時40分
会場 日本基督教団大岡教会 電話 0559200347

ちよつと良いニュース

*「立候補年齢の制限は違憲」
19から25歳6人
引き下げ求め提訴
若者の声届く社会に
東京地裁

*トイレ使用制限は「違法」
性的少数者の職場環境
初判断 裁判官全員一致
最高裁

*核禁条約に日本は参加を
意見書可決659議会
条約採択6年 市民ら粘り強く請願

*地球沸騰化の時代が来た。
グテーレス国連事務総長は27日、地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰化の時代が到来したと警告した。